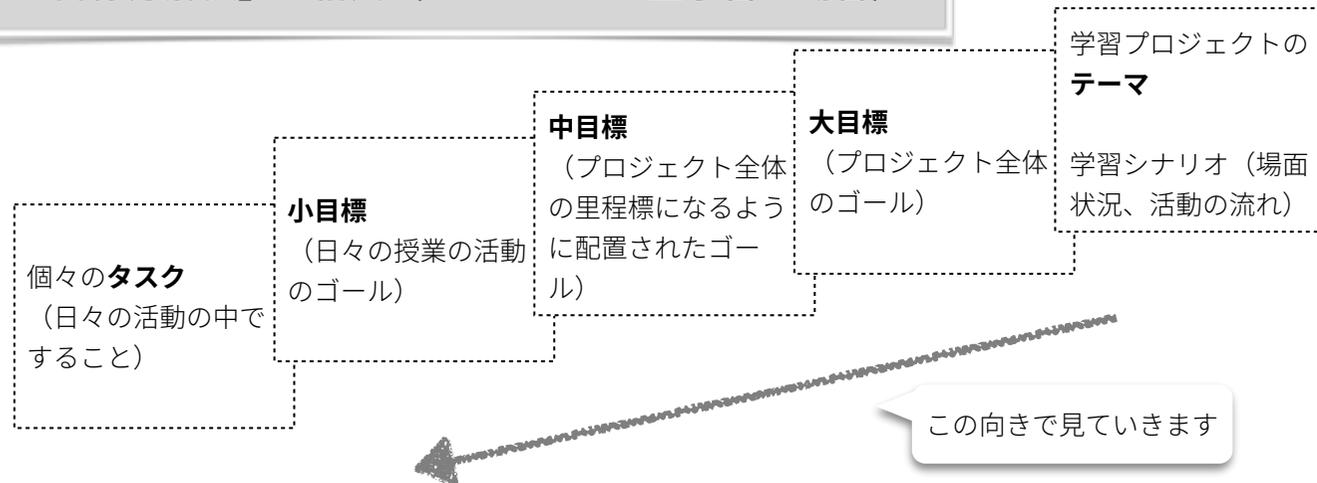


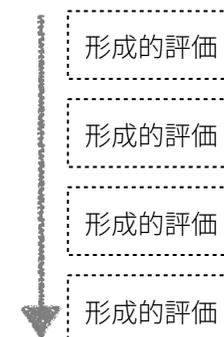
I 「目標分解表」の構成（プロジェクト型学習の場合）



II 目標のレベルの違い

	タスク	小目標	中目標	大目標
言語表現	日々の授業で与えられる個々のプレコミュニケーション活動。	個々の個別的な言語表現の伝達機能に焦点を当て、それが運用できるかどうかを示す目標。	明確な構造を持つ談話、社会的な役割を担って行われる談話など、個別的な言語表現を統合した高次の言語表現を運用できるかどうかを示す目標。	プロジェクト全体の目標。教室外の社会との連携や、新しい人的ネットワークの構築に、積極的に関わる目標が望ましい。
言語表現以外	日々の授業で行う段階を追った活動。	中目標の成果物を作り上げるためにクリアしなければならない知識の獲得、調査、分析、報告、制作活動の目標。	あるジャンルのメッセージを伝える成果物を残すことが可能な目標。例: 何かの違いを分析したレポート、何かを紹介するパフォーマンス、歓迎の気持ちを表現するカードや飾り付け……	

III 評価の配置



総括的評価

各小目標、各注目標ごとに評価がおこなわれることが望ましい